

## 食農学類教員会議（第26回）議事要録

日時： 令和2年10月14日(水) 13時30分～15時25分

場所： 食農学類研究棟 みらいホール（WEB会議併用）

### 【1. 審議事項】

1. 令和3年度総合型選抜第1次選抜合否判定について  
牧入試委員より、資料に基づき提案があり、了承された。
2. 令和2年度非常勤講師計画について  
石川尚人教務委員より、資料に基づき提案があり、了承された。
3. 成績不振学生の対応等について  
石川尚人教務委員より、資料に基づき提案があった。  
対象者の基準に関し、資料中にある「前年度末時点」の文言を、「各セメスター終了時点」に修正したいこと、面談については既に一部実施済みであること、問題があれば随時修正しながら実施していきたいことなどの説明があり、了承された。
4. 学生の浜通り地域における見学会の実施について  
新田イノベ委員より、資料に基づき提案があり、了承された。

### 【2. 報告事項】

1. 運営会議（9/29、10/13）教育研究評議会（10/6）の報告について  
学類長より各会議について報告があった。  
大学院改革に関し、前回教員会議での聴取の結果集まった意見を、運営会議、評議会で報告したこと、文科省への説明、改革案バージョンIIの提案概略、また本件に関し意見があれば16日朝まで募集していることなどについて説明があった。  
その他、勤務時間申告書は全員に提出して欲しい旨の注意喚起があった。
2. 危機対策本部会議の報告について  
学類長より危機対策本部会議について報告があった。  
新型コロナウイルスに関連し、教職員による学内巡視を10月も実施すること、後期の対面授業で感染者が発生した場合は状況に応じ様々な対応が考えられること、奨学金貸与を12/28まで延期したことなどについて説明があった。
3. 令和3年度追試験等の申し合わせについて  
牧入試委員より、資料に基づき報告があった。
4. 転コース実施方法の検討状況について  
石川尚人教務委員より報告があった。  
設置審で定められているためルール作りが必須であること、内容に関して議論中のため、意見を募りたいことなどについて説明があった。

5. 達成度評価実施方法の再検討状況について  
石川尚人教務委員より報告があった。  
今年度は前期で年次レポートを提出済みであること、去年とは違う形で達成時レポートを提出させる方針であることなどについて説明があった。  
また、昨年度の達成時レポートに関し、農場実習Ⅱの時間を使って書かせたものではあるが、あくまでもその時間を使っただけであり、『農場実習Ⅱのレポート』ではなく『達成時レポート』であるということが改めて確認された。
6. 研究室配属方法の検討状況について  
石川尚人教務委員より報告があった。  
配属方法については各コースに一任する方向で検討中であること、また、これに関し意見あれば寄せてほしい旨の説明があった。
7. 学生生活実態調査について  
高橋学生生活委員より、資料に基づき報告があった。  
学生の生活状況を知るための非常に大事なデータとなること、極力回答率 100%に近づけるようにしたいことなどについて説明があった。
8. 東北税理士会福島県支部連合会との農業簿記論連携講義に関する協定書  
荒井評議員より、来年度開講する農業簿記論講義に関し、東北税理士会福島県支部連合会と協定を結ぶことについて、資料に基づき報告があった。